

福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成26年11月号）

福島第二原子力発電所1～4号機は、安定した冷温停止を維持しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。

発電所の安全確保に向けて 電源車を使った訓練を行いました

- 先月号で紹介した、緊急時における燃料冷却を維持していくための取り組み（機動的対応）のうち、電源車を使用した訓練を10月24日に行いました。
- 今回の訓練では、電源車で発電した電気を電源盤に初めて供給し、電源が失われた場合でも設備を稼働できることを確認しました。訓練にあたっては、電源車からのケーブルを操作員が肩に担ぎながら慎重に引き出し、感電防止等の安全確認をしっかりと行ったうえでケーブルの接続を行いました。
- 保全・防災部門の所員（約130名）が電源車や原子炉建屋への注水のための消防ポンプ車などを使って、機動的に対応できるように訓練を計画的に行っています。発電所には常時、操作に必要な人員が待機しており、有事の際でも燃料の冷却に必要な電気や水を供給します。

○訓練の様子



ケーブルを肩に担いだ操作員



電源盤へのケーブル接続



電源車の起動

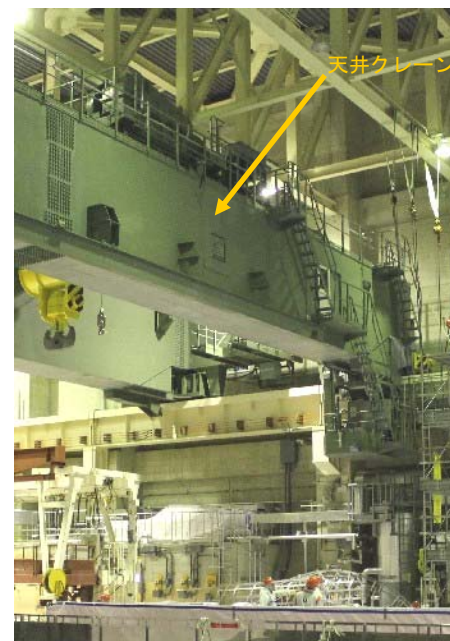


起動後のデータ確認

3号機では燃料移動へ向けた 準備作業を着実に進めています

- 当所では、設備の維持管理の簡素化の観点から、原子炉の燃料を使用済燃料プールへ移動することとしており、当所で最後の燃料移動となる3号機において、今年度中の実施に向けて準備を進めています。
- 現在は、燃料移動の前に行う原子炉開放作業で使用する天井クレーンの車輪部分の点検を行っています。原子炉開放作業では、天井クレーンで原子炉圧力容器の蓋など100tクラスの重量物を吊り上げます。こうした作業を安全に進めるためには、このクレーンが正確に動作することが不可欠であり、一つひとつ慎重に点検を進めています。
- 燃料交換機の点検も同時に進めており、12月には燃料交換機上から使用済燃料プール内へ水中カメラを挿入し、燃料のラック点検を行う予定です。

○燃料取り出しに向けた各点検の様子（原子炉建屋6階）



原子炉建屋天井クレーンの点検



燃料交換機の点検



燃料交換機の点検（拡大）

発電所から海へ放出する水の放射線量を常時監視しています

- 原子炉および使用済燃料プールの冷却に使用した海水や、発電所内の雨水などは、放水口から海に放出しています。放水にあたり専用の放水口モニタで、放射線量に変動がないか24時間監視しています。
- 放水口モニタで測定した放射線量については、当所ホームページにて10分おきに公表しています（詳細は当所ホームページをご覧ください）。
- 放水口モニタの測定値は、検出槽*内に天然の放射性物質が含まれた砂が詰まるなどして値が上昇を示すことがあります。そこで放水口モニタの機能を維持するため、毎月1回、定例清掃を行い砂を取り除いています。また、台風の際など、短時間で砂を大量に取り込んだ際には、その都度清掃を行い、支障なく放射線量が測定できるよう取り組んでいます。

* 汲み上げた海水を溜める水槽であり、水槽中の海水の放射線量を測定します。

○4号機放水口モニタの清掃の様子



放水口モニタの設備内に堆積した砂の除去



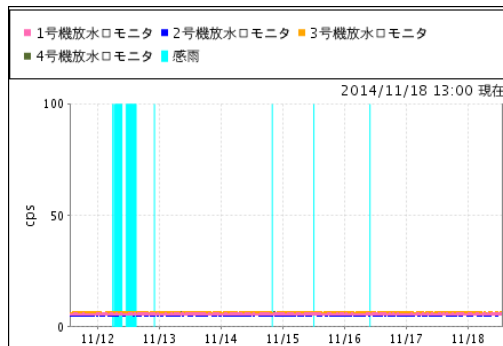
検出槽の清掃

<当所ホームページ 放水口モニタ計測状況のURL>
<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/washport/index-j.html>

<当所ホームページでの掲載状況>

福島第二原子力発電所での放水口モニタ計測状況

計測グラフ



計測値 (2014/11/18 13:00) 放水口単位: cps

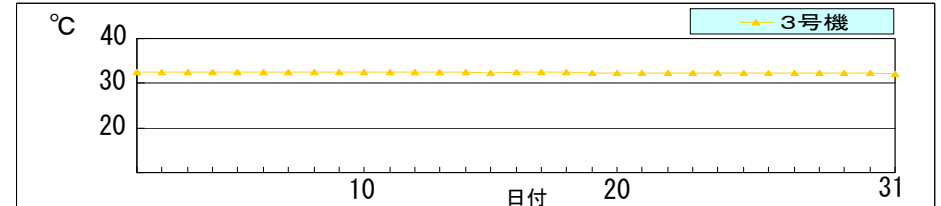
1号機	2号機	3号機	4号機	感雨
5.7	5.5	6.2	6.1	無

【プラントデータ】

燃料の冷却状況 (10月分)

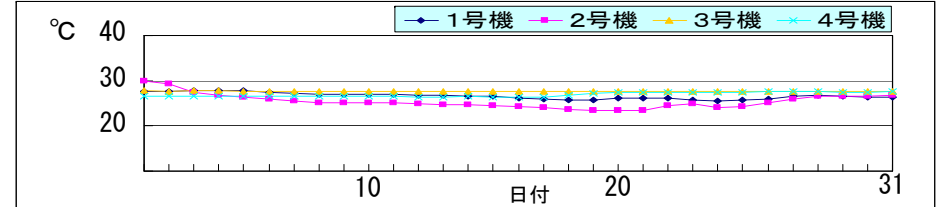
原子炉水および使用済燃料プール水の温度は、約30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。

【原子炉水温度】



1号機は平成26年7月10日、2号機は平成25年10月16日、4号機は平成24年10月24日に、原子炉内から764体の燃料すべてを取り出し、使用済燃料プールへ移動しました。

【使用済燃料プール水温度】



さらに詳しい情報は当所ホームページをご覧ください。

<URL>

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

<QRコード>



自衛消防隊による消防訓練を行いました

- 当所では、火災が発生した際、すみやかに初期消火活動を行い、被害を最小限にとどめるため自衛消防隊を組織しています。その自衛消防隊による消防訓練を10月に行いました。
- 本訓練では、火災発生時における公設消防隊との連絡体制の確認および消火の基本に関する研修を行いました。また、実際に火災発見から放水までの一連の動作を確認しました。
- 煙が大量に発生した際にも消防活動を的確に行えるよう、空気呼吸器マスクや空気ポンベの取り扱いを確認し、実際に装着する訓練も行いました。



消火栓の操作



放水



空気呼吸器マスクと空気ポンベ

福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き安定した冷温停止を維持してまいります。

【お問い合わせ】福島第二原子力発電所 企画広報グループ
 tel 0240-25-1353 受付時間(平日)午前9時～午後5時